

南 風

津島市立南小学校 校長室だより 第13号

平成26年10月16日 (月2回発行)

南小HP『南風学舎』 ダイジェスト版

※ 合わせて南小学校HPをご覧ください

3年 『お話を聴く会 (あったかいね、おじいちゃん

・おばあちゃんの手)』を実施

10月7日(火)、南小の体育館で「お話を聴く会」が行われました。3年生の社会科・総合的な学習の時間として実施されました。30名を超える地域の皆さんに参加していただきました。子どもたちに囲まれ、地域の皆さんの表情が柔らかくなっていくのを感じました。戦争中の頃の苦労。おじいちゃん・おばあちゃんの小学校時代の話。昔の子どもたちの遊びなど楽しい話をしていただきました。子どもたちも真剣にお話を聴くことができました。用意しておいた銀杏をプレゼントしました。(お話をして下さる地域の皆さん)



『なかよし運動会』を開催しました

14日(火)、津島市生涯学習センター(アイプラザ)の体育室でなかよし運動会が開催されました。市内の特別支援学級で頑張っている児童・生徒が集まりました。台風一過で天気も良くなり(といっても室内で行いました)、子どもたちは半日様々な種目に挑戦しました。先生方のアイデアも素晴らしく、楽しい時間を過ごすことができました。南小の子どもたちも大活躍。「玉入れ」「パンつり競争」や「台風の目」で大活躍でした。南小と他の学校の子どもたち、子どもと保護者、保護者と教師の大事なふれあいの時間となりました。



なかよし運動会の様子

『前期終業式』『後期始業式』を行いました

10月10日（金）南小学校体育館で、前期の終業式を開催しました。1年生と6年生の子どもたちが「学習で頑張ったこと」「プールで頑張ったこと」「運動会で頑張ったこと」「生活科（朝顔の栽培）で頑張ったこと」「児童会で頑張ったこと」を発表してくれました。一人ひとり本当に良い作文発表でした。私からは「赤崎先生・天野先生などノーベル物理学賞をもらった人たちも何回も失敗をしました。その失敗の中で大発見をしたのです。あきらめないで頑張ることが大切です」というお話をしました。

14日（火）、後期の始業式を行いました。私からは「後期が始まりました。秋は大変過ごしやすくスポーツや読書に頑張ることができます。どうか読書の秋に親しんで下さい。良い本との出会いは人生を変えます。1冊の読書を楽しむ秋にしてください」とお願いしました。

めざせ!

津島の
達人⑨



津島の名物を食べよう

津島の名物といえば、あかだ・くつわ。近江屋弥三郎以来、津島神社参拝のお土産となっています。津島麩が入った重箱うどんは、津島を訪れた時の食事の定番となっていました。明治になると「柿屋饅頭」。酒蒸し饅頭。柿屋とは佐織縞の流行していた柄に由来します。近江商人、二七翁塚本源三郎の命名。（ワコールの創業者です）

石原正明ってどんな人？

三重苦の聖女、ヘレン・ケラーが最も尊敬した人として「塙保己一」という江戸時代の国学者を挙げました。保己一は盲目の国学者で、全国に散らばっていた古書を『群書類従』という研究叢書にまとめました。この作業を助けたのが海東郡神守村出身の石原正明でした。

※ 津島南小のホームページをご覧ください。

<http://w3.aichi-tsushima-ed.ed.jp/minami-e/nc/>